



公式通知 No.5

給油時の注意事項

1. 携行缶使用時の給油エリアの指定

マル耐ではリスク回避のため、**携行缶の利用を含めて給油はガソリンスタンド、およびその真横の洗車場付近で行って頂きます。**耐久レース形式のため、給油時にはどうしても慌ててしまいがちになり、ガソリンをこぼす・溢れさせてしまうケースが発生しがちです。サーキット走行直後は各パーツがかなりの高温になるため、火災発生のリスクが高くなります。

公式レースの場合、各ピットでの給油時には耐火スーツを着用の上、消化器をかまえた状態での給油など、安全確保対応しております。ただ、マル耐では初級者も含めて参加出来るようにしたいため、各チームに耐火スーツや消化器準備の義務化など行くと敷居が上がってしまうためあまりやりたくはありません。

そのため、せめて各ピットで行うより 1 箇所で行う事により、万が一の場合に対応しやすくするため給油エリアの指定を行っております。かなりの手間が増えるとは思いますが、安全確保のためご協力をお願いいたします。

※耐久レース中でのルールです。レース開始前の準備時や、同日開催の U1500 車両、2525GP 車両は各ピットなどで給油を行って頂いてかまいません。

ただし携行缶・ガソリンの取り扱いには重々注意し、安全確保に努めてください。



携行缶での給油エリア



2, ガソリンスタンドのご利用にあたって

マル耐 in TSUKUBA では、30分毎に基準タイムを設定しているため、選手交代のタイミングが各チームかぶりやすくなると思います。そのためガソリンスタンドでの給油は、タイミングによって混み合うことが予想されますので予めご承知おきください。

3, パドック内からガソリンスタンド・給油エリアへの給油動線

ガソリンスタンドへは、**最徐行でパドック内を移動**していただくようお願い致します。
パドック内で子どもの飛び出しなどもありますので、接触事故がないよう細心の注意を払ってください。
また、**2輪でパドック内を移動するときはヘルメット着用厳守**をお願いいたします。





4. 耐久レース中、給油を行い、その後継続走行する場合の手順

携行缶の場合はガ
スタ横の給油エ
リアで！

ウィンカーや、手を上げる
など、右への合図を出す

(1)ピットイン後、走行レーンを走って、任意の交代
場所付近で安全を確認した上で作業エリアに入っ
て停車。

(2)選手の交代を行います。装備の確認や、4輪の場
合はシートベルトの確認など、慌てずにしっかりお
こなってください。選手の交代を行わず、給油のみ
の場合はそのままガソリンスタンドへ進んでくだ
さい。

(3) 後方安全を確認後、ピットロード走行レーンに
進路変更し、右合図を出したあとパドックに出てガ
ソリンスタンドで給油を行って下さい。携行缶を利
用する場合も必ずガソリンスタンド横の給油エリ
アで行ってください。

(4)ガソリンスタンド横から、再度コースインしま
す。

※ピットロードの逆走は絶対に禁止です

※作業エリアは全チームの共有部分です

